

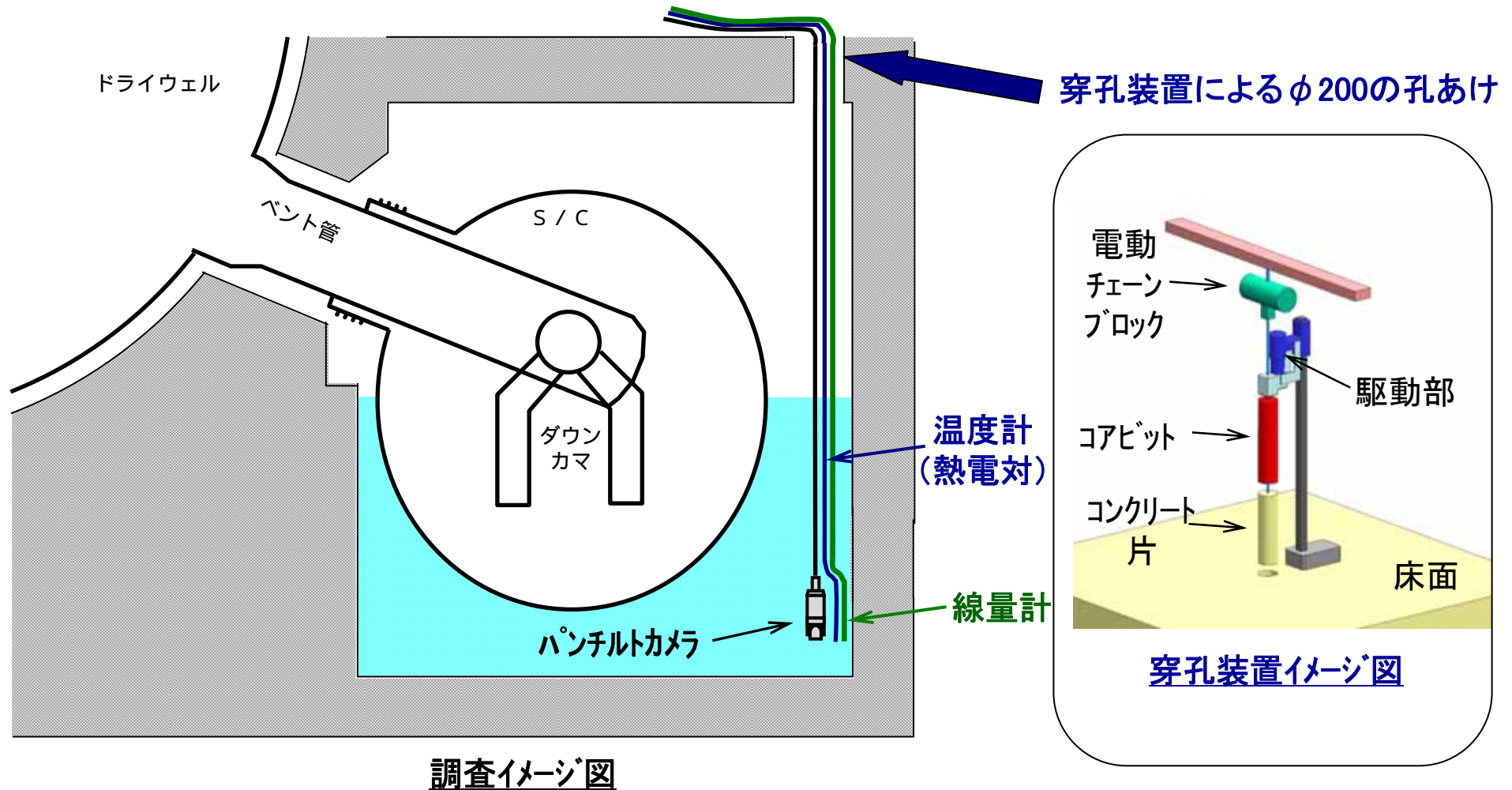
<参考資料>

福島第一原子力発電所2号機トーラス室調査に伴う  
穿孔作業結果について

平成25年1月28日  
東京電力株式会社

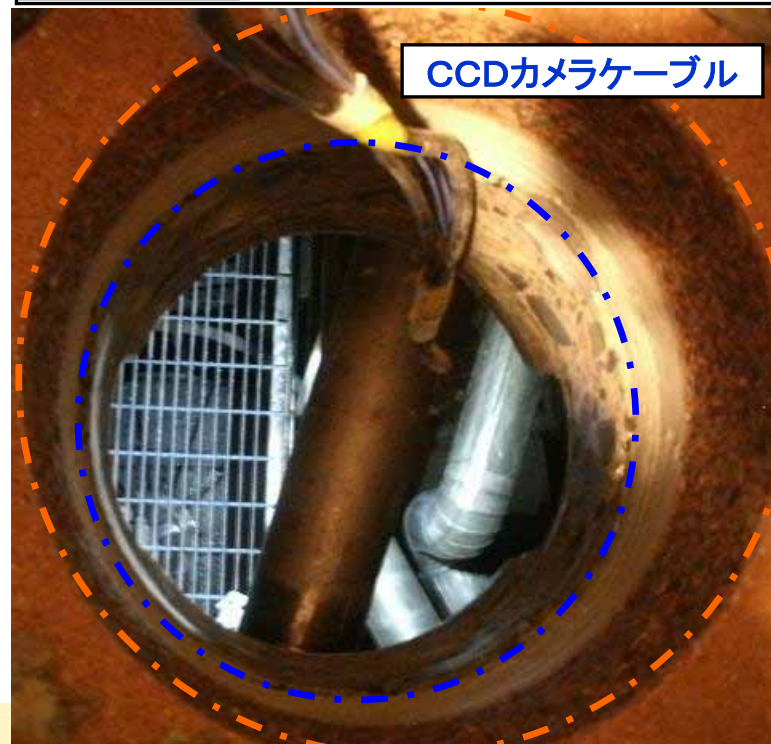
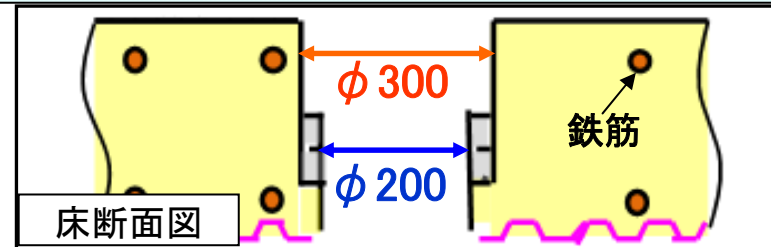
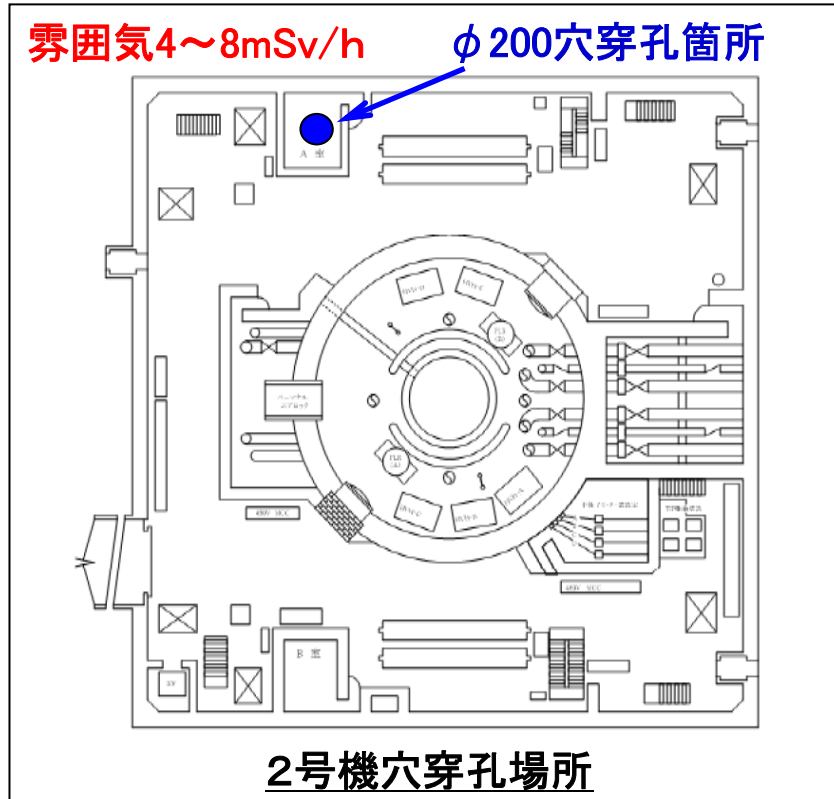
# 1. 調査方法(温度・線量・カメラ)

穿孔装置により原子炉建屋1階床面に孔をあけ、温度計、線量計、カメラを挿入し調査する。



## 2. 穿孔状況と今後の予定

2号原子炉建屋北側RHR (A)熱交換器室に穿孔したところ，干渉物(配管，グレーチング等)の存在を確認。



### ●今後の予定

孔あけ箇所の変更を含め，今後の進め方については現在検討中。

### 3. 作業実績

#### ●作業実績

1/27(日)

作業内容:床面φ300孔あけ

個人最大被ばく線量:2.03mSv

1/28(月)

作業内容:床面φ200孔あけ(貫通)

個人最大被ばく線量:1.87mSv

<<特記事項>>

・霧困気線量:孔貫通前後で、1階作業エリアでの線量上昇はなかった。(約4.5mSv/h)

・水素濃度:孔貫通時、1階作業エリアで水素は検出されなかった。